

在沖米軍のコロナ感染情報の迅速な公開を 基地関係者全員の PCR 検査実施で命を守れ 安保中央が外務・防衛省に要請

外務・防衛省に要請する参加者
↑7日、衆院第1議員会館



安保破棄中央実行委員会7月17日、沖縄の米軍基地での新型コロナウイルスの集団感染問題で、外務・防衛の両省に対して、感染拡大を防止するための緊急の要請・交渉を衆院第1議員会館でおこないました。要請には東森英男事務局長はじめ、全労連、安保・神奈川、日本平和委員会、婦人民主クラブ、原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会、日本共産党などから13名が参加しました。

東森事務局長は①米軍感染者の情報の迅速な提供、関係自治体と住民に情報の公表、②感染者の基地内での隔離を実施、③米軍関係者の入国の際、全員検査の実施、④基地内の日本人労働者の全員にPCR検査の実施、⑤日米地位協定の抜本改定などを求めました。外務・防衛省担当者は、「日米合同委員会の合意に基づき感染状況などは日米間で調整している」などと述べ、要求に対して不誠実な回答でした。

参加者からは、「入国米兵の全員検査をすべき」「韓国では感染者の行動経路など、公表している」など、不安や心配の意見が出され、基地内の情報の提供・公表を強く求めました。

同日、河野太郎防衛相は在日米軍関係者の米出国時と日本入国時にPCR検査を実施する方向で調整していることを明らかにしました。沖縄県は基地従業員に対し、症状の有無に関わらず無料でPCR検査を実施する方針を固めました。

沖縄県は「設計概要変更申請」を不許可にしてください

全国から、沖縄の民意に連帯する「意見書」を届けよう

まもなく、沖縄県知事への意見書の受付が始まります。辺野古にかかわる当面の重要な取り組みとして大きく広げてください。詳細は県が発表次第、お知らせします。全国で辺野古新基地問題を考える運動の輪を広げましょう。

木更津に配備されたオスプレイの2機目（↑6日）



安倍政権が米国言いなりで購入した陸上自衛隊のV22オスプレイの2機目が、7月16日午前11時すぎに、山口県の米軍岩国基地から千葉県木更津市の陸自木更津駐屯地に飛来し、暫定「配備」されました。1機目のオスプレイは天候の関係で予定されていた6日から10日に延期され、今回の配備となりました。防衛省はオスプレイの機体点検などをおこなった後、8月にも2機の試験飛行をおこなう予定です。計画ではオスプレイを17機も導入されますが、米国から納入されているオスプレイは現在5機で、残り3機は米国に置かれています。配備に反対する地元住民の会などの各団体や個人が木更津駐屯地近くの内港北公園に集まり、監視・抗議行動をおこないました。安保破棄中央実行委員会からは、林竜二郎・竹下武の両事務局次長が参加しました。

千葉
木更津

陸自2機目を「暫定」配備
オスプレイはどーにもいらない

安保破棄中央・東京実行委員会 7月宣伝行動

* 7月22日(水)12時~13時

* 場所 新宿駅西口 宣伝に参加を